

「専門学科トライアル」

10月22日(土)に、専門学科トライアルが開催されました。生徒実行部は、各学科の生徒スタッフとしての参加や受付係、誘導係などのサポートを行いました。今回も夏休みにあった体験入学のときと同じようにたくさんの中学生や保護者の方が来校されました。

中学生と一緒に会話やゲームをして交流し、どの学科も楽しいトライアルとなりました。中学生や保護者の方の中には、たくさんの質問をしてくれる方や、笑顔で話を聞いてくれる方などがいて、私たちとてもうれしい気持ちになりました。このようなコミュニケーションやトライアルでこの京都すばる高校の魅力を伝えることが出来てよかったです。

各学科の様子

【起業創造科】

Itoゲームと牛井屋ビジネスマネジメントを行いました。Itoゲームのキーワードは共感や同感。言葉で自分の数字をうまく伝えることができず苦戦していました。もう一つは、コンピュータ上で経営を行い、仕入計画や販売計画などを考えながら、どの牛井屋が一番儲かったのか競いました。



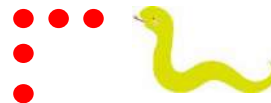
【企画科】

世界の国調べを通して発展途上国の現状を調べ、JICA(海外協力隊)の活動について知り、企画力で世界を変えることについて学びました。



【情報科学科】

ヘビを操作し、ポイントを拾ってスコアを競うゲームで遊んでもらいました。その後、実際にプログラムを作成しました。中学生は慣れない操作が多かったようです。しかし一生懸命に取り組んでいました。

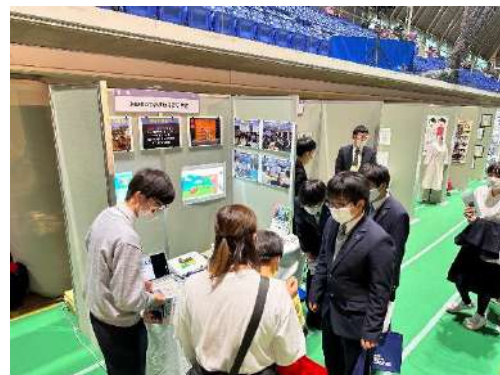


「さんフェア青森2022」

さんフェア青森2022(第32回全国産業教育フェア青森大会)が実施されました。今回は私たち生徒実行部から情報科学科の1年生4名が参加しました。

この大会での基本方針は、「新しい時代を創る地域産業の担い手となることを期待し、産業界と連携しながら産業教育の魅力を青森から全国へ発信する。」というものがあります。私たち生徒実行部はこの大会に参加し、かつて卒業生が制作した重力付き四目並べの展示をしました。展示会では、情報科学科のパンフレットがなくなるほどの多くの方々に来ていただきました。さらに、他校の情報科や工業科、家庭科などの多くの学科の展示物などを見学できました。今回の第32回全国産業教育フェア青森大会のスタッフをするなかで、他校生との交流があり大変勉強となりました。

来年の福井大会もぜひ参加してもっと交流していきたいと思いました。



「企画科の開発商品」

第36回販売学習京都すばるデパートでは、2年生と3年生の企画科が各企業様と共に開発した商品の販売を行いました。それぞれ2年生の4組が和洋菓子、5組がパン、6組が和菓子を校内で販売し、3年生の4,5,6組が2店舗に分かれてハッ橋、宇治抹茶のお菓子、缶バッジ、スタンプなどを校内とネットで販売しました。多くの生徒や先生方が商品を買いました。どのクラスも、夏休み前から販売商品を考え、プレゼンを行い、よりよい商品を開発できた結果だと思います。また、校内放送での宣伝や商品のおすすめ、見所の放送など販売促進の工夫が多くみられました。



「国際情報オリンピック」

国際情報オリンピック(IOI)とは、世界約80の国や地域から、高校生3年生までの生徒・学生(日本では主に中学生・高校生)が集まり、情報科学を対象とした能力を競い合うプログラミングコンテストです。

この国際情報オリンピックには、生徒実行部の2年生1人が11月19日(土)の1次予選に参加し、見事通過することができました。

予選を通過できれば、次は2次予選に進むことができ、2次予選を通過して本選に進むことができます。

今年の国際情報オリンピックの参加申し込みは終わりましたが、興味のある情報科学科生はぜひ参加してみてください。



「2学期最後に、、、」

2学期も終盤となりました。2学期には多くの行事が開催されました。特に、第36回販売学習京都すばるデパートは1年生にとって初めての挑戦で、3年生にとっては高校生活最後の販売学習となりました。他にも、中庭の試験的な開放や自動販売機の内容変更もありました。

冬休みが明ければすぐにテストや検定試験が待っています。遊ぶだけでなく勉強にも力を入れて過ごしましょう!!

To be continued...